

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公開番号】特開2010-20198(P2010-20198A)  
 【公開日】平成22年1月28日(2010.1.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-004  
 【出願番号】特願2008-182229(P2008-182229)  
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

H 0 1 J 11/02 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 0 2

H 0 1 J 11/02 E

【手続補正書】  
 【提出日】平成23年7月5日(2011.7.5)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

走査電極と維持電極からなる表示電極対を多数形成した前面ガラス基板と、前記表示電極対と交差する方向にアドレス電極を多数形成した背面ガラス基板とを貼り合わせて構成したプラズマディスプレイパネルを有し、前記プラズマディスプレイパネルは、金属のシャーシに伝熱シートを介して取り付けられ、かつ前記シャーシは、背面側に回路基板を取り付けた画像表示装置であって、

前記プラズマディスプレイパネルは、前記背面ガラス基板のシャーシ側の面に、複数の溝部が設けられていることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】

前記溝部の内部に冷却用液体を有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 5】

上記目的を達成するために本発明は、走査電極と維持電極からなる表示電極対を多数形成した前面ガラス基板と、前記表示電極対と交差する方向にアドレス電極を多数形成した背面ガラス基板とを貼り合わせて構成したプラズマディスプレイパネルを有し、前記プラズマディスプレイパネルは、金属のシャーシに伝熱シートを介して取り付けられ、かつ前記シャーシは、背面側に回路基板を取り付けた画像表示装置であって、前記プラズマディスプレイパネルは、前記背面ガラス基板のシャーシ側の面に、複数の溝部が設けられていることを特徴とする。